

豊田直巳写真展

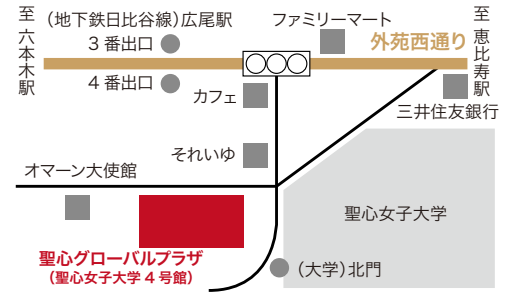
「未来への伝言～消される景色の中の消えない記憶～」



2018年5月3日 飯館村 10年ぶりに祭が開かれた大雷神社を出発した神輿は、農地保全のために植えた菜の花と、汚染土壌の「仮置き場」の間を巡った。地元青年がほとんど参加しない中、飯館村と「復興連携プログラム」協定を結んでいる福島大学の学生も、「お手伝い」で神輿を担いだ。

2021.2.17(水)～4.28(水)
月曜日～金曜日 10:00～17:00

聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ
東京都渋谷区広尾4-2-24(広尾駅4番出口から徒歩1分)



2月24日(水) 19:00～20:30

「未来への伝言～消される景色の中の消えない記憶～キックオフトーク」
豊田直巳さんから、写真展の見どころとエピソード、また近日公開予定の映画『サマシヨール 遺言 第六章』について、ゲストとともにお話しいたします。(※アーカイブあり)



豊田直巳
フォトジャーナリスト



長谷川健一
飯館村民。元酪農家で
現在ソバを栽培



長谷川花子



伊藤延由
飯館村民、放射能の
測定を継続中

野田雅也
報道写真家、映画監督
ドローン操縦士

津島由美子
聖心女子大学

満田夏花
FoE Japan

吉田明子
FoE Japan

2021年3月、福島第一原発事故から10年を迎えます。FoE Japanでは、ともすると復興のかけに「見えない化」されてしまう福島第一原発事故の被害を可視化し、国際的に発信していくため、「ふくしまミエルカプロジェクト」に取り組んでいます。このたび、フォトジャーナリストの豊田直巳さんとともに、聖心女子大学にて写真展を企画しました。コロナ禍で多くの人が集まる形でのイベントが開催できない中、10年という節目に、写真を通じて、原発事故の被害を見つめなおす機会となればと考えています。気候危機への対応も待たなしです。原子力や化石燃料に頼らない、持続可能な社会への転換を、一緒に実現していけたらと願っています。ぜひ足を運んでいただけましたら幸いです。

4月3日(土) 14:00～16:00

ドキュメンタリー映画
『奪われた村 避難5年目の飯館村民』上映
+ 豊田監督トーク <予定>

FoE Japan
公式サイト
においても
情報配信中
>>>>>>



挨拶 (豊田直巳さんより)

昨年(2020年)も、北は青森県から南は静岡県の一部まで、というきわめて広範囲にわたって野生キノコの一部に出荷制限や摂食制限が掛かりました。長野県でも一部の山菜に出荷、摂食の制限が掛かっています。セシウムが100ベクレル/kgという「基準値」以上検出されたからです。

これが「フクシマ10年」の日本です。日本の全てではなくとも、日本に重い影を落としています。ただ、10年前の東京電力福島第一原発の爆発事故によって広範囲に撒き散らされた放射性物質が目に見えないように、日本の「重い影」は見ようとしなければ見えないのかもしれない。

だから私は写真を撮ってきました。何気なく通り過ぎる風景の中で、見過ごされる人びとの姿に、ちょっと足を止めて欲しいから。そ

のか細い声にほんの少し耳を傾けて欲しいから。そんな時間と空間と思いと関係の窓に、私の写真がなればいいな、と思いながら。

そう思って10年間「フクシマ」にレンズを向けてきて思うのは、写真は「いま」を切り取るものですが、切り取られた写真は、「未来への伝言」でもあるということ。ヒロシマ、ナガサキがいまも終わらないように、「フクシマ」は300年後の子どもたちに、日本の「負の歴史」として教科書にも載るでしょう。その子どもたちに向かっても、私は伝えたいのです。何が「起こっていたのか。どんな人びとの姿がそこにはあったのか」を。原発から漏洩されたセシウムも300年後には消えるでしょうから……。

そして、私の写真をご覧になるあなたが、その歴史の同伴者になって下さればと願いながら。



■豊田直巳さんプロフィール

フォトジャーナリスト、ドキュメンタリー映像監督・制作JVJA(日本ビジュアルジャーナリスト協会)会員

1983年よりパレスチナ・中東の取材を始める。その後カンボジア、アチェなど東南アジアや旧ユーゴ、コンボなどの紛争地を取材し、週刊、新聞、テレビなどで発表。2011年の東日本大震災以降は、主に原発事故被害の取材を続けている。

写真展概要

写真展『未来への伝言』は、フォトジャーナリストの豊田直巳が、原発震災の翌日から福島県大熊町や双葉町に入り、取材と撮影を始めた中から、「消される景色の中の消えない記憶」を未来に残したいと思いながら、選んだ写真の一部です。

いまも「フクシマ」を覆う放射能禍。でもセシウムは見えません。セシ

ウムが発する放射線も見えません。でも、確かにそれは、あるのです。

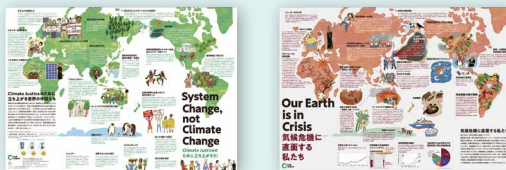
けっして「風評」などではないのです。そして、それでもなお、そこにも人びとの暮らしもあります。何気なく通り過ぎる風景の中にも、あなたが心に留め置きたい何かがあるはず。それは風景を景色に変えてくれるかもしれません。こころを動か

される眼差しかもしれません。

その何かに、この写真展で気づくことを願って写真構成をしています。「閉ざされた街」「止まった時間」「奪われた恵み」「不可解な風景」「仮の暮らし」「消される故郷」「感謝と無念と」「一時帰宅」など。

※FoE Japanの「気候変動アクションマップ」なども展示します。

「System Change not Climate Change
- 気候正義のために立ち上がろう! -」



FoE Japan「ふくしまミエルカプロジェクト」では、映像やデータで福島第一原発事故の今を伝えています。https://311mieruka.jp/

写真展の運営や「ふくしまミエルカプロジェクト」へのご寄付募集

郵便振替口: 00130-2-68026
口座名: FoE Japan

城南信用金庫 高円寺支店
普通358434 エフ・オー・イー・ジャパン

ご協力誠にありがとうございます。振り込み後「豊田直巳写真展への寄付」などにご連絡ください。

【問い合わせ先】 国際環境 NGO FoE Japan
TEL: 03-6909-5983 FAX: 03-6909-5986
E-mail: info@foejapan.org URL: www.foejapan.org

